

平成29年10月25日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
広報・渉外課

第4回日本語教育セインフォーラムの開催について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、海外における日本語教育の振興と向上に貢献することを目的として、2014年に日本語教育支援フォーラム（J-LEF）を開催いたしました。その後、台湾、韓国の本学海外協定校でフォーラムを開催し、この度、宮崎にて平成29年10月27日～29日の日程で、第4回日本語教育支援フォーラムを開催することとなりました。

近年、高度外国人材の育成、地方創成を睨んだ地域国際化などの社会ニーズに後押しされるように、国内での日本語教育ニーズが増しております。また、それ以上に、東南アジア、南アジアでは日本語熱が高まり、その教育支援が求められています。そこで、本フォーラムが、社会ニーズに応える今後の日本語教育及び日本語教育の発展や展開について、皆様との意見交換の場となれば幸いに存じます。

なお、本フォーラムは国立大学フェスタ2017に参加しています。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載していただくとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時	10月27日（金）10：00受付、10：30開始
場 所	宮崎大学 木花キャンパス 創立330記念交流会館
対 象	日本語教員、日本語教育関係者、日本語学習者、 日本語教育および留学生教育に関心のある方
参加費	無料
主 催	宮崎大学 国際連携センター
共 催	宮崎大学 語学教育センター日本語教育部門
後 援	宮崎市、公益財団法人宮崎県国際交流協会、順天大学校（韓国）

※詳細は別紙をご覧ください

以上

第4回日本語教育支援フォーラム

The 4th Japanese Language Educational Forum in Miyazaki, Japan

宮崎大学では、日本語教育の振興と向上に貢献することを目的として、2014年に日本語教育支援フォーラム(J-LEF)を開催いたしました。その後、海外協定校で2回のフォーラムが開催され、この度、第4回を再び宮崎にて開催する運びとなりました。

近年、地方創成を背景とした地域国際化や、高度外国人材の育成と導入など、社会状況とそれともなう施策に後押しされて、国内での日本語教育ニーズが増えています。また、それ以上に、海外での日本語学習者が増加の傾向にあり、その教育支援が求められています。そこで、社会と学習者のニーズに応える今後の日本語教育について、皆様と意見交換する場として、第4回日本語教育支援フォーラムを開催いたします。

なお、本フォーラムは国立大学フェスタ2017に参加しています。

日時

2017年10月27日(金)～29日(日)

場所

宮崎大学 木花キャンパス 創立330記念交流会館

参加対象

日本語教員、日本語教育関係者、日本語学習者、
日本語教育および留学生教育に関心のある方

主催

宮崎大学 国際連携センター

共催

宮崎大学 語学教育センター 日本語教育部門

後援

順天大学校(韓国)、宮崎市、
公益財団法人宮崎県国際交流協会

参加費

参加無料!

【お申し込み】

「氏名(和/英)」「所属・役職(学年)」「連絡先(Email)」をご記入の上、
下記までメールにてお申込みください。

【お問合せ先】

E-mail: nihongo@of.miyazaki-u.ac.jp TEL: 0985-58-2515

宮崎大学 国際連携センター (担当:坂田)

～第4回日本語教育支援フォーラム プログラム ～

10月27日（金）

時間	行事	内容
10:00	受付開始	
10:30	開会の辞	伊丹 利明(Itami Toshiaki いたみ としあき) (宮崎大学 副学長(国際連携担当))
10:40	基調講演	「多言語多文化同時学習支援と日本語教育・日本語教員養成—産学官民連携による日本語支援の推進—」 長友 和彦(Nagatomo Kazuhiko ながとも かずひこ) (大葉大学 応用日本語学科 講座教授、宮崎大学 名誉教授)
12:00	(昼食休憩)*	
13:00	セミナー	日本語教育方法、日本語学習支援等に関する各取り組みの紹介
	セッション1 実践報告	
13:00	講演	「東呉大学日本語学科における日本文学教育の現状—小説選読を例として—」 頼 雲荘(Lai Yun Chuang ライ ウンソウ) (東呉大学 日本語文学科 副教授)
13:30	講演	「非漢字圏理系院生への初級学習アプローチ—教授法と問題点—」 杉村 佳彦(Sugimura Yoshihiko すぎむら よしひこ) (宮崎大学 語学教育センター 日本語教育部門 講師)
14:00	(休憩)	
	セッション2 日本語教育	
14:10	講演	「実践力を求める日本語教育の展開」 蘇 克保(Su Keh Bow ソ コクホ) (東呉大学 日本語文学科 副教授)
14:40	講演	「グローバル化と少子化の狭間に—日本語学科のこれからの道を探る—」 陳 文瑤(Chen Wen Yao チェン ウェンヤオ) (大葉大学 応用日本語学科 准教授兼学科主任)
15:10	(休憩)	
	セッション3 日本語と人材育成	
15:20	講演	「大学での高齢者向けの日本語教材の作成と教員養成の必要性について」 清水 裕美子(Shimizu Yumiko しみず ゆみこ) (淡江大学 日本語学科 非常勤講師)
15:50	講演	「バングラデシュ国 ICT 技術者向け日本語教育プログラム用教材開発の取り組み」 江口 清子(Eguchi Kiyoko えぐち きよこ) (宮崎大学 国際連携センター 特別講師)
16:20	(休憩)	
16:30	報告	「Universitas Airlangga の日本語教育」 Dwi Anggoro Hadiutomo(ドゥイ アンゴロ ハディウトモ) (アイルランガ大学 人文学部 日本研究学科長)
16:45	報告	「宮崎大学の日本語教育の取り組み」 寺尾 智史(Terao Satoshi てらお さとし) (宮崎大学 語学教育センター 日本語教育部門 准教授)

17:00	提案	「日本語教育連携に向けて」 伊藤 健一 (Ito Kenichi いたう けんいち) (宮崎大学 国際連携センター 准教授)
17:10	総合討論	・ 講演内容等への、参加者からの質疑と講演者の応答 ・ 翌日のワークショップに向けたテーマの討議
17:25	閉会の辞	寺尾 智史 (Terao Satoshi てらお さとし) (フォーラム実行委員長)
17:30	交流会	宮崎大学カフェテリア(無料)
19:00	交流会終了	

* 大学生協食堂 (Cafeteria) が営業しております。昼食はそちらをご利用ください。

10月28日(土)

時間	行事	内容
13:00	ワークショップ	日本語教育支援への取り組み
	説明	テーマ別グループセッション
13:10	第1回目	(テーマ/ファシリテーター)
14:05	(休憩)	1) 地域性: 各国、各地域、大学における日本語教育の工夫/ 寺尾 智史
14:10	第2回目	2) 遠隔: e-learning や Web 教育/ 伊藤 健一
15:05	(休憩)	3) ビジネス日本語: 業種や職種に応じた教育等/ 杉村 佳彦
15:10	第3回目	方法: 一定時間毎にグループを移動する「ワールドカフェ方式」を予定。
16:05	(休憩)	
16:10	会議	・ ワークショップの総括 ・ 今後の日本語教育連携に向けた取り組みの検討

10月29日(日)

時間	行事	内容
12:30	集合・出発	ホテルエリアワン宮崎シティ 出発 (各自昼食後)
		瀬頭(せがしら)方面へ移動。
13:00	「神武さま」**を 観覧	瀬頭御旅所(おたびしょ)から宮崎神宮への「御神幸行列(ごしんこうぎょうれつ)」 を観覧。 行列とともに宮崎神宮へ移動。
16:00		宮崎神宮へ到着。
17:00		ホテル帰着

** お祭「神武(じんむ)さま」は、1876年から約140年の歴史を誇る宮崎を代表する祭りです。

http://www.miyazaki-cci.or.jp/miyazaki/news/2017/02/post_334.html